

血液検査項目の簡単な説明②

2022 年 2 月

	検 査 項 目	測 定 意 義
貧 血 ・ 炎 症	赤血球数	貧血や多血症の指標となります。全身状態を把握するうえでも有効です。
	白血球数	感染症、炎症性疾患や血液疾患で高値を示します。低値の場合には、免疫反応が低下している場合があります。
	ヘモグロビン値	血液中の血色素であるヘモグロビン量で、貧血等の血液疾患を調べる検査です。
	血小板数	各種の血小板減少症や増加症の診断、出血傾向が疑われるとき、止血異常などを調べるためにも検査されます。
血液凝固	PT APTT	血液が固まる機能を調べる検査です。 抗凝固薬の効果をみるためにも検査されます。
	FDP・D ダイマー	血管内にできた血栓を溶かした時にできる物質を調べます。 各種血栓症や血栓溶解療法などの効果をみるためにも検査されます。

尿・便検査項目の簡単な説明

	検 査 項 目	測 定 意 義
尿	pH	尿の酸性、アルカリ性を調べる検査です。
	尿比重	尿の希釈、濃縮の状態を調べます。
	尿蛋白	腎機能の診断に用います。
	尿糖	糖尿病の診断に用います。
	尿ケトン体	糖質代謝異常の診断に用います。
	尿潜血	腎・尿路系の出血を伴う疾患を調べる検査です。
	尿ビリルビン ウロビリノーゲン	肝機能や胆石症などの診断に用います。
	尿亜硝酸塩	尿路や腎臓の感染症の診断に用います。
	白血球	尿路や腎臓の感染症の診断に用います。
	尿中アルブミン	極微量なアルブミンで腎症の早期発見に用います。
	尿沈渣	尿中の赤血球や白血球、円柱、上皮細胞などの有形成分を顕微鏡で調べる検査です。
便	潜血	下部消化管の出血を調べる検査です。

この説明用紙をご利用されるうえでの注意事項

※測定意義は一般的な解釈です。結果値の右側のHやLは、基準値(基準範囲)と比べて 高い場合はH、低い場合はLと印字されます。 H、Lがついていてもすぐに病気ということではありません。

※検査成績の判定は、身体症状や経過、その他の検査成績などを含めて医師が総合的に判断します。

ご不明な点は主治医にお尋ねください。